

対象校No. 701  
注4

学校コード F126310107671  
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

認可

注2  
京都文教大学 総合社会学部 実践社会学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人京都文教学園  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学部・研究科事務部
職名・氏名	ミスイ ヒサタカ 永井 久貴
電話番号	0774-25-2888 (内線: 4479)
(夜間)	0774-25-2888 (内線: 4479)
e-mail	gakubujimu-sousha@po.kbu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。



# 目次

総合社会学部

＜実践社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人京都文教学園

## (2) 大学名

京都文教大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒611-0041

京都府宇治市槇島町千足80番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシナ シュウロウ) 仁科 修朗 (令和元年6月)	(ヒラオカ サトシ) 平岡 聡 (令和7年2月)	前任者辞任による交代(7)
学長	(モリ マサミ) 森 正美 (令和4年4月)		
学部長	(ウカイ マサキ) 鵜飼 正樹 (令和4年4月)	(クロミヤ カズモト) 黒宮 一太 (令和6年4月)	前任者任期満了による交代(6)
学科長等	(クロミヤ カズモト) 黒宮 一太 (平成30年4月)	(マスイ ユウイチ) 舛井 雄一 (令和6年4月)	前任者任期満了による交代(6)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合に、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合社会学部 実践社会学科 学士 (実践社会学)	社会学・社会福祉学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人		総合社会学部 総合社会学科 [入学定員減] (△60) (令和6年4月)

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	60	0	60	0	-	0.46倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	43	0	47	0	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	39	0	47	0				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	35	0	40	0				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	24	0	31	0				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用) IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	24	0	31	0	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	23	0	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	24		54		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和6年度	24人	0人	令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
			令和6年度	0人	0人	
令和7年度	54人	1人	令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
			令和6年度	1人	0人	
			令和7年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{55} = \boxed{1.81} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合社会学部 実践社会学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
TEI KB U A 目	大学入門	1前	2								兼2
	仏教入門	1前	2								兼2
	地域入門	1後	1			1					兼3
	小計(3科目)	-	5	0		1	0	0	0	0	兼5
リ テ ラ ン シ ー 目	社会に活かす統計学	1前	2								兼1
	数理・データサイエンス基礎	1前	2								兼1
	数理・データサイエンス演習	1前・1後	2								兼3
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼1
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼1
	英語リーディングⅠ	1前	1								兼1
	英語リーディングⅡ	1後	1								兼1
	小計(7科目)	-	8	2		0	0	0	0	0	兼5
基 礎 基 盤 科 目	仏教学	1後	2								兼1
	浄土学	2後	2								兼1
	宗教学	1後	2								兼1
	哲学	1前	2								兼1
	倫理学	1後	2								兼1
	健康科学	1前・1後	2								兼1
	生涯スポーツ	1前・1後	2								兼1
	スポーツ実技	1前・1後	1								兼1
	環境論	1後	2								兼1
	京都の文化と歴史	1前	2								兼1
	芸術論	1前	2								兼1
	生活学	1後	2			1					兼1
	人権論	1後	2								兼1
	日本国憲法	1前	2								兼1
	社会科学論	1後	2			1					兼1
	社会福祉	2前	2								兼1
	グローバル社会と文化	1後	2								兼1
	総合英語A	2前	1								兼1
	総合英語B	2前	1								兼1
	総合英語C	2前	1								兼1
	総合英語D	2後	1								兼1
	総合英語E	2後	1								兼1
	初級中国語Ⅰ	1前	1								兼1
初級中国語Ⅱ	1後	1								兼1	
中級中国語	2前	1								兼1	
初級韓国語Ⅰ	1前	1								兼1	
初級韓国語Ⅱ	1後	1								兼1	
中級韓国語	2前	1								兼1	
	小計(28科目)	-	0	44		2	0	0	0	0	兼##
キ ャ リ ア 教 育 科 目	大学生活とキャリア	1前	2								兼1
	リフレクションとキャリア	2後	2								兼1
	就職活動とキャリア	3前	2								兼1
	職業生活とキャリア	4後	2								兼1
	ともいきとキャリア	1前・1後	2					1			兼1
	地域インターンシップ事前指導	2前	1			1					兼3
	地域インターンシップ	2後	1			1					兼3
	海外インターンシップ事前指導	2前	1								兼1
	海外インターンシップ	2後	1								兼1
	インターンシップ	2後	2								兼1
	小計(10科目)	-	0	16		0	1	0	1	0	兼6
	基礎教育科目小計(48科目)	-	13	62		3	1	0	1	0	兼##

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
TEI KB U A 目	大学入門	1前	2					2				兼2
	仏教入門	1前	2									兼2
	地域入門	1後	1			1		1				兼2
	小計(3科目)	-	5	0		3	1	0	0	0	0	兼5
リ テ ラ ン シ ー 目	社会に活かす統計学	1前	2									兼1
	数理・データサイエンス基礎	1前	2									兼4
	数理・データサイエンス演習	1後	2					1				兼1
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼9
	英語リーディングⅠ	1前	1									兼8
	英語リーディングⅡ	1後	1									兼8
	小計(7科目)	-	8	2		0	0	0	0	0	0	兼18
基 礎 基 盤 科 目	仏教学	1後	2									兼1
	浄土学	2後	2									兼1
	宗教学	1後	2									兼1
	哲学	1前	2									兼1
	倫理学	1後	2									兼1
	健康科学	1前・1後	2									兼1
	生涯スポーツ	1前・1後	2									兼4
	スポーツ実技	1前・1後	1									兼3
	環境論	1後	2									兼1
	京都の文化と歴史	1前	2									兼1
	芸術論	1前	2									兼1
	生活学	1後	2			1						兼1
	人権論	1後	2									兼1
	日本国憲法	1前	2									兼1
	社会科学論	1後	2			1						兼1
	社会福祉	2前	2									兼1
	グローバル社会と文化	1後	2									兼1
	総合英語A	2前	1									兼1
	総合英語B	2前	1									兼1
	総合英語C	2前	1									兼1
	総合英語D	2後	1									兼1
	総合英語E	2後	1									兼1
	初級中国語Ⅰ	1前	1									兼2
初級中国語Ⅱ	1後	1									兼2	
中級中国語	2前	1									兼1	
初級韓国語Ⅰ	1前	1									兼2	
初級韓国語Ⅱ	1後	1									兼2	
中級韓国語	2前	1									兼1	
	小計(28科目)	-	0	44		2	0	0	0	0	0	兼20
キ ャ リ ア 教 育 科 目	大学生活とキャリア	1前	2								1	兼1
	リフレクションとキャリア	2後	2								1	兼1
	就職活動とキャリア	3前	2									兼1
	職業生活とキャリア	4後	2									兼1
	ともいきとキャリア	1前・1後	2							1		兼1
	地域インターンシップ事前指導	2前	1									兼3
	地域インターンシップ	2後	1									兼3
	海外インターンシップ事前指導	2前	1									兼1
	海外インターンシップ	2後	1									兼1
	インターンシップ	2後	2									兼1
	小計(10科目)	-	0	16		0	0	0	1	0	0	兼7
	基礎教育科目小計(48科目)	-	13	62		3	0	0	1	0	0	兼48

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎講義科目	社会学入門	1前	2			1							
	経営学入門	1前	2				1						
	社会調査入門	1前	2					1					
	会計論	1後	2			1							
	地域社会学	2前	2				1						
	マーケティング基礎	2前	2									兼1	
	小計 (6科目)	-	12	0		2	1	1	1	0		兼1	
	実践講義科目	行動経済学	1後	2									兼1
		社会調査方法論	1後	2			1						兼1
		簿記論	2前	2									兼1
		地域開発論	2前	2									兼1
		地域の経済と産業	2前	2			1						兼1
		人材マネジメント論	2後	2				1					兼1
		マーケティング論	2後	2									兼1
		アートプロジェクト論	2後	2					1				兼1
		イベント企画論	2前	2									兼1
		民俗文化論	2前	2			1						兼1
		経営組織論	2・3・4前	2									兼1
		アントレプレナーシップ研究	2・3・4前	2			1						兼1
ビジネスプランニング		2・3・4後	2									兼1	
起業論		3・4前	2									兼1	
政策過程論		2・3・4後	2									兼1	
SDGsと環境		2・3・4前	2				1					兼1	
地域の歴史と環境		2・3・4後	2						1			兼1	
フードシステム		2・3・4後	2					1				兼1	
ダイバーシティ		2・3・4後	2						1			兼1	
小計 (19科目)	-	14	38		2	2	2	3	0		兼8		
専門科目	現代史	1前	2									兼1	
	メディアリテラシー	1後	2									兼1	
	日本経済論	2前	2									兼1	
	消費行動の心理	2後	2									兼1	
	家族・ジェンダー論	2後	2									兼1	
	グローバリゼーション論	2後	2									兼1	
	行政学	2前	2									兼1	
	観光ビジネス論	2前	2									兼1	
	メディア研究概論	1前	2									兼1	
	公共経済学	2後	2									兼1	
	ネットワーク論	2前	2									兼1	
	観光学概論	1前	2									兼1	
	地域デザイン概論	1後	2			1						兼1	
	経済学概論	1前	2									兼1	
	小計 (14科目)	-	0	28		1	0	0	0	0		兼9	
	基礎演習科目	アカデミックスキル演習	1前	2			4	2	2	4			
		キャリア基礎ゼミ	1後	2			4	2	2	4			
		キャリアゼミⅠ	2前	2			4	2	2	4			
		キャリアゼミⅡ	2後	2			4	2	2	4			
キャリアゼミⅢ		3前	2			4	2	2	4				
キャリアゼミⅣ		3後	2			4	2	2	4				
ラボ入門		1前	2							1			
プロジェクト入門		1後	2			1							
セルフ・プロデュース		2前	1							1			
プロジェクト・オーデイション		2前	1			1							
プロジェクト演習Ⅰ		2前	4			4	2	2	4				
プロジェクト演習Ⅱ		2後	4			4	2	2	4				
プロジェクト演習Ⅲ		3前	4			4	2	2	4				
プロジェクト演習Ⅳ		3後	4			4	2	2	4				
小計 (14科目)		-	34	0		4	2	2	4	0		兼0	
発展演習科目		プロジェクトアシスタント (PA) 演習Ⅰ	4前	2			1						
		プロジェクトアシスタント (PA) 演習Ⅱ	4後	2							1		
		ともいきプロジェクト演習Ⅰ	4前	4			4	2	2	4			
		ともいきプロジェクト演習Ⅱ	4後	4			4	2	2	4			
	小計 (4科目)	-	8	4		4	2	2	4	0		兼0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎講義科目	社会学入門	1前	2			1							
	経営学入門	1前	2				1						
	社会調査入門	1前	2					1					
	会計論	1後	2			1							
	地域社会学	2前	2				1						
	マーケティング基礎	2前	2									兼1	
	小計 (6科目)	-	12	0		2	2	1	0	0		兼1	
	実践講義科目	行動経済学	1後	2									兼1
		社会調査方法論	1後	2			1						兼1
		会計データリテラシー	2後	2									兼1
		地域開発論	2前	2									兼1
		地域の経済と産業	2前	2			1						兼1
		人材マネジメント論	2後	2				1					兼1
		マーケティング論	2後	2									兼1
		アートプロジェクト論	2後	2					1				兼1
		イベント企画論	2前	2									兼1
		民俗文化論	2前	2			1						兼1
		経営組織論	2・3・4前	2						1			兼1
		アントレプレナーシップ研究	2・3・4前	2			2	1					兼1
ビジネスプランニング		2・3・4後	2			2	1					兼1	
起業論		3・4前	2									兼1	
政策過程論		2・3・4後	2									兼1	
SDGsと環境		2・3・4前	2				1					兼1	
地域の歴史と環境		2・3・4後	2						1			兼1	
フードシステム		2・3・4後	2						1			兼1	
ダイバーシティ		2・3・4後	2						1			兼1	
小計 (19科目)	-	14	38		3	2	4	0	0		兼7		
専門科目	現代史	1前	2									兼1	
	メディアリテラシー	1後	2									兼1	
	日本経済論	2前	2									兼1	
	消費行動の心理	2後	2									兼1	
	家族・ジェンダー論	2後	2									兼1	
	グローバリゼーション論	2後	2									兼1	
	行政学	2前	2									兼1	
	観光ビジネス論	2前	2									兼1	
	メディア研究概論	1前	2									兼1	
	公共経済学	2後	2									兼1	
	ネットワーク論	2前	2									兼1	
	観光学概論	1前	2									兼1	
	地域デザイン概論	1後	2			1						兼1	
	経済学概論	1前	2									兼1	
	小計 (14科目)	-	0	28		1	0	0	0	0		兼9	
	基礎演習科目	アカデミックスキル演習	1前	2			8	2	4	1			
		キャリア基礎ゼミ	1後	2			8	2	4	1			
		キャリアゼミⅠ	2前	2			8	3	4	1			
		キャリアゼミⅡ	2後	2			8	3	4	1			
キャリアゼミⅢ		3前	2			4	2	2	4				
キャリアゼミⅣ		3後	2			4	2	2	4				
ラボ入門		1前	2						1				
プロジェクト入門		1後	2						1				
セルフ・プロデュース		2前	1					1	8	1			
プロジェクト・オーデイション		2前	1			8	2	1					
プロジェクト演習Ⅰ		2前	4			8	2	4	1			兼1	
プロジェクト演習Ⅱ		2後	4			8	3	4	1			兼1	
プロジェクト演習Ⅲ		3前	4			4	2	2	4				
プロジェクト演習Ⅳ		3後	4			4	2	2	4				
小計 (14科目)		-	34	0		4	3	4	1	0		兼1	
発展演習科目		プロジェクトアシスタント (PA) 演習Ⅰ	4前	2			1						
		プロジェクトアシスタント (PA) 演習Ⅱ	4後	2							1		
		ともいきプロジェクト演習Ⅰ	4前	4			4	2	2	4			
		ともいきプロジェクト演習Ⅱ	4後	4			4	2	2	4			
	小計 (4科目)	-	8	4		4	2	2	4	0		兼0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	つくるラボ演習Ⅰ	1後	2				1				兼1
	つくるラボ演習ⅡA	2前	2								
	つくるラボ演習ⅡB	2前	2								
	つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2				1				兼1
	みせるラボ演習Ⅰ	1後	2					1			
	みせるラボ演習ⅡA	2前	2								兼1
	みせるラボ演習ⅡB	2前	2								兼1
	みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2					1			
	しらべるラボ演習Ⅰ	1後	2		1						
	しらべるラボ演習ⅡA	2前	2			1					
	しらべるラボ演習ⅡB	2前	2					1			
	しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2			1					
	つなぐラボ演習Ⅰ	1後	2					1			
	つなぐラボ演習ⅡA	2前	2								兼1
	つなぐラボ演習ⅡB	2前	2								兼1
	つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2						1		
	あきなうラボ演習Ⅰ	1後	2					1			
	あきなうラボ演習ⅡA	2前	2			1					
	あきなうラボ演習ⅡB	2前	2								兼1
	あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2					1			
ひらめくラボ演習Ⅰ	1後	2			1						
ひらめくラボ演習ⅡA	2前	2						1			
ひらめくラボ演習ⅡB	2前	2								兼1	
ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2			1						
小計(24科目)	-	0	48		3	1	2	4	0	0	兼7
専門科目小計(81科目)	-	58	118		4	2	2	4	0	0	###
合計(129科目)	-	58	118		4	2	2	4	0	0	###

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	つくるラボ演習Ⅰ	1後	2						1		
	つくるラボ演習ⅡA	2前	2						1		
	つくるラボ演習ⅡB	2前	2								兼1
	つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2					1			
	みせるラボ演習Ⅰ	1後	2						1		
	みせるラボ演習ⅡA	2前	2								兼1
	みせるラボ演習ⅡB	2前	2								兼1
	みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2						1		
	しらべるラボ演習Ⅰ	1後	2		1						
	しらべるラボ演習ⅡA	2前	2			1					
	しらべるラボ演習ⅡB	2前	2					1			
	しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2			1					
	つなぐラボ演習Ⅰ	1後	2					1			
	つなぐラボ演習ⅡA	2前	2								兼1
	つなぐラボ演習ⅡB	2前	2								兼1
	つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2						1		
	あきなうラボ演習Ⅰ	1後	2					1			
	あきなうラボ演習ⅡA	2前	2			1					
	あきなうラボ演習ⅡB	2前	2						1		
	あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2					1			
ひらめくラボ演習Ⅰ	1後	2			1						
ひらめくラボ演習ⅡA	2前	2						1			
ひらめくラボ演習ⅡB	2前	2								兼1	
ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)	2後	2			1						
小計(24科目)	-	0	48		3	2	4	1	0	0	兼5
専門科目小計(81科目)	-	14	52		4	2	4	1	0	0	兼18
合計(129科目)	-	14	52		4	3	4	1	0	0	兼72

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、科目区分ごとに定められた必要単位数を含め124単位以上修得すること。

(a) 基礎教育科目のうち、必修科目13単位を含め17単位を以下の科目区分の定めにより修得すること。  
 KBUアイデンティティ科目:5単位、リテラン科目:8単位、ともしき教養科目:4単位

(b) 専門科目のうち必修科目54単位を含め94単位を以下の科目区分の定めにより修得すること。  
 基礎講義科目:12単位、実践講義科目:20単位、関連講義科目:10単位、基幹演習科目:34単位、発展演習科目:8単位、プロジェクト・スキル科目:10単位(※1、※2)

(c) 基礎教育科目、専門科目及び他学科開講科目のなかから、興味・関心により履修する科目を13単位習得すること(履修科目の登録の上限:24単位(学期))

※1. プロジェクト・スキル科目10単位のうち、以下アからカのいずれかの組み合わせによる6単位の履修を必修とする。

ア:「つくるラボ演習Ⅰ」「つくるラボ演習ⅡA」「つくるラボ演習ⅡB」  
 イ:「みせるラボ演習Ⅰ」「みせるラボ演習ⅡA」「みせるラボ演習ⅡB」  
 ウ:「しらべるラボ演習Ⅰ」「しらべるラボ演習ⅡA」「しらべるラボ演習ⅡB」  
 エ:「つなぐラボ演習Ⅰ」「つなぐラボ演習ⅡA」「つなぐラボ演習ⅡB」  
 オ:「あきなうラボ演習Ⅰ」「あきなうラボ演習ⅡA」「あきなうラボ演習ⅡB」  
 カ:「ひらめくラボ演習Ⅰ」「ひらめくラボ演習ⅡA」「ひらめくラボ演習ⅡB」

※2. プロジェクト・スキル科目のうち以下の科目の履修にあたっては、次の履修要件を設ける。  
 「つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記アの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記イの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記ウの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記エの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記オの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記カの組み合わせによる6単位を修得していること

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、科目区分ごとに定められた必要単位数を含め124単位以上修得すること。

(a) 基礎教育科目のうち、必修科目13単位を含め17単位を以下の科目区分の定めにより修得すること。  
 KBUアイデンティティ科目:5単位、リテラン科目:8単位、ともしき教養科目:4単位

(b) 専門科目のうち必修科目54単位を含め94単位を以下の科目区分の定めにより修得すること。  
 基礎講義科目:12単位、実践講義科目:20単位、関連講義科目:10単位、基幹演習科目:34単位、発展演習科目:8単位、プロジェクト・スキル科目:10単位(※1、※2)

(c) 基礎教育科目、専門科目及び他学科開講科目のなかから、興味・関心により履修する科目を13単位習得すること(履修科目の登録の上限:24単位(学期))

※1. プロジェクト・スキル科目10単位のうち、以下アからカのいずれかの組み合わせによる6単位の履修を必修とする。

ア:「つくるラボ演習Ⅰ」「つくるラボ演習ⅡA」「つくるラボ演習ⅡB」  
 イ:「みせるラボ演習Ⅰ」「みせるラボ演習ⅡA」「みせるラボ演習ⅡB」  
 ウ:「しらべるラボ演習Ⅰ」「しらべるラボ演習ⅡA」「しらべるラボ演習ⅡB」  
 エ:「つなぐラボ演習Ⅰ」「つなぐラボ演習ⅡA」「つなぐラボ演習ⅡB」  
 オ:「あきなうラボ演習Ⅰ」「あきなうラボ演習ⅡA」「あきなうラボ演習ⅡB」  
 カ:「ひらめくラボ演習Ⅰ」「ひらめくラボ演習ⅡA」「ひらめくラボ演習ⅡB」

※2. プロジェクト・スキル科目のうち以下の科目の履修にあたっては、次の履修要件を設ける。  
 「つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記アの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記イの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記ウの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記エの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記オの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)」:上記カの組み合わせによる6単位を修得していること



科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	その他	専任	准専任	助教	助手		
専門科目	関連講義科目	現代史	1前	2								兼1
		メディアリテラシー	1後	2								兼1
		日本経済論	2前	2								兼1
		消費行動の心理	2後	2								兼1
		家族・ジェンダー論	2後	2								兼1
		グローバルゼーション論	2後	2								兼1
		行政学	2前	2								兼1
		観光ビジネス論	2前	2								兼1
		メディア研究概論	1前	2								兼1
		公共経済学	2後	2								兼1
		ネットワーク論	2前	2								兼1
	観光学概論	1前	2								兼1	
	地域デザイン概論	1後	2	1								
	経済学概論	1前	2								兼1	
	小計 (14科目)	-	0	28		1	0	0	0	0	0	兼9
	基幹演習科目	アカデミックスキル演習	1前	2			1	2	3	1		
		キャリア基礎ゼミ	1後	2			1	2	3	1		
		キャリアゼミⅠ	2前	2			4	2	2	4		
		キャリアゼミⅡ	2後	2			4	2	2	4		
		キャリアゼミⅢ	3前	2			4	2	2	4		
		キャリアゼミⅣ	3後	2			4	2	2	4		
ラボ入門		1前	2						1			
プロジェクト入門		1後	2				1					
セルフ・プロデュース		2前	1							1		
プロジェクト・オーデイション		2前	1			1						
プロジェクト演習Ⅰ		2前	4			4	2	2	4			
プロジェクト演習Ⅱ	2後	4			4	2	2	4				
プロジェクト演習Ⅲ	3前	4			4	2	2	4				
プロジェクト演習Ⅳ	3後	4			4	2	2	4				
小計 (14科目)	-	34	0		4	2	4	1	0	0	兼0	
発展演習科目	プロジェクトアシスタント (PA) 演習Ⅰ	4前	2			1						
	プロジェクトアシスタント (PA) 演習Ⅱ	4後	2						1			
	ともいきプロジェクト演習Ⅰ	4前	4			4	2	2	4			
	ともいきプロジェクト演習Ⅱ	4後	4			4	2	2	4			
小計 (4科目)	-	8	4		4	2	2	4	0	0	兼0	
プロジェクト・スキル科目	つくるラボ演習Ⅰ	1後	2						1			
	つくるラボ演習ⅡA	2前	2								兼1	
	つくるラボ演習ⅡB	2前	2								兼1	
	つくるラボ演習Ⅲ (オープンラボ)	2後	2						1			
	みせるラボ演習Ⅰ	1後	2						1			
	みせるラボ演習ⅡA	2前	2								兼1	
	みせるラボ演習ⅡB	2前	2								兼1	
	みせるラボ演習Ⅲ (オープンラボ)	2後	2						1			
	しらべるラボ演習Ⅰ	1後	2			1						
	しらべるラボ演習ⅡA	2前	2				1					
	しらべるラボ演習ⅡB	2前	2						1			
	しらべるラボ演習Ⅲ (オープンラボ)	2後	2			1						
	つなぐラボ演習Ⅰ	1後	2						1			
	つなぐラボ演習ⅡA	2前	2								兼1	
	つなぐラボ演習ⅡB	2前	2								兼1	
	つなぐラボ演習Ⅲ (オープンラボ)	2後	2						1			
あきなうラボ演習Ⅰ	1後	2			1							
あきなうラボ演習ⅡA	2前	2			1							
あきなうラボ演習ⅡB	2前	2								兼1		
あきなうラボ演習Ⅲ (オープンラボ)	2後	2						1				
ひらめくラボ演習Ⅰ	1後	2			1							
ひらめくラボ演習ⅡA	2前	2						1				
ひらめくラボ演習ⅡB	2前	2								兼1		
ひらめくラボ演習Ⅲ (オープンラボ)	2後	2			1							
小計 (24科目)	-	0	48		3	1	2	4	0	0	兼7	
専門科目小計 (81科目)	-	54	80		4	2	4	1	0	0	兼21	
合計 (129科目)	-	67	142		4	2	4	1	0	0	兼60	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、科目区分ごとに定められた必要単位数を含め124単位以上修得すること。

(a) 基礎教育科目のうち、必修科目13単位を含め17単位を以下の科目区分の定めにより修得すること。  
 KBUアイデンティティ科目: 5単位、リテラシー科目: 8単位、ともいき教養科目: 4単位

(b) 専門科目のうち必修科目54単位を含み94単位を以下の科目区分の定めにより修得すること。  
 基礎講義科目: 12単位、実践講義科目: 20単位、関連講義科目: 10単位、基幹演習科目: 34単位、発展演習科目: 8単位、プロジェクト・スキル科目: 10単位(※1、※2)

(c) 基礎教育科目、専門科目及び他学科開講科目のなかから、興味・関心により履修する科目を13単位習得すること(履修科目の登録の上限: 24単位(学期))

※1. プロジェクト・スキル科目10単位のうち、以下アからカのいずれかの組み合わせによる6単位の履修を必修とする。

ア:「つくるラボ演習Ⅰ」「つくるラボ演習ⅡA」「つくるラボ演習ⅡB」  
 イ:「みせるラボ演習Ⅰ」「みせるラボ演習ⅡA」「みせるラボ演習ⅡB」  
 ウ:「しらべるラボ演習Ⅰ」「しらべるラボ演習ⅡA」「しらべるラボ演習ⅡB」  
 エ:「つなぐラボ演習Ⅰ」「つなぐラボ演習ⅡA」「つなぐラボ演習ⅡB」  
 オ:「あきなうラボ演習Ⅰ」「あきなうラボ演習ⅡA」「あきなうラボ演習ⅡB」  
 カ:「ひらめくラボ演習Ⅰ」「ひらめくラボ演習ⅡA」「ひらめくラボ演習ⅡB」

※2. プロジェクト・スキル科目のうち以下の科目の履修にあたっては、次の履修要件を設ける。  
 「つくるラボ演習Ⅲ (オープンラボ)」: 上記アの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「みせるラボ演習Ⅲ (オープンラボ)」: 上記イの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「しらべるラボ演習Ⅲ (オープンラボ)」: 上記ウの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「つなぐラボ演習Ⅲ (オープンラボ)」: 上記エの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「あきなうラボ演習Ⅲ (オープンラボ)」: 上記オの組み合わせによる6単位を修得していること  
 「ひらめくラボ演習Ⅲ (オープンラボ)」: 上記カの組み合わせによる6単位を修得していること

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務演習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

(1) 科目名の変更		
変更前	変更後	
地域インターンシップ事前指導	地域キャリア実習事前指導	
地域インターンシップ	地域キャリア実習	
海外インターンシップ事前指導	海外キャリア実習事前指導	
海外インターンシップ	海外キャリア実習	
インターンシップ	キャリアアップ実習	

  

(2) 配当年次の変更		
科目名	変更前	変更後
教理・データサイエンス演習	1前・1後	1後

  

(3) 担当者数の変更		
科目名	変更前	変更後
大学入門	兼2	教授2・兼2
教理・データサイエンス基礎	兼1	兼4
教理・データサイエンス演習	兼3	兼1
英語コミュニケーションⅠ	兼1	兼7
英語コミュニケーションⅡ	兼1	兼7
英語リーディングⅠ	兼1	兼7
英語リーディングⅡ	兼1	兼7
生涯スポーツ	兼1	兼5
スポーツ実技	兼1	兼4
初級中国語Ⅰ	兼1	兼2
初級中国語Ⅱ	兼1	兼2
初級韓国語Ⅰ	兼1	兼2
初級韓国語Ⅱ	兼1	兼2
地域キャリア実習事前指導	准教授1・兼3	兼3
地域キャリア実習	准教授1・兼3	兼3
経営学入門	講師1	兼1
社会調査入門	助教1	講師1
キャリア基礎ゼミ	教授4・准教授2・講師2・助教4	教授1・准教授2・講師3・助教1
みせるラボ演習Ⅰ	助教1	講師1
あきなうラボ演習Ⅰ	講師1	教授1

【令和7年度】

(1) 科目名の変更		
変更前	変更後	
簿記論	会計データリテラシー	

  

(2) 配当年次の変更		
科目名	変更前	変更後
会計データリテラシー	2前	2後
日本経済論	2前	2後
観光ビジネス論	2前	2後

  

(3) 担当者数の変更		
科目名	変更前	変更後
大学入門	教授2・兼2	教授2・兼2
地域入門	教授1・兼3	兼4
教理・データサイエンス基礎	兼4	兼1
教理・データサイエンス演習	兼1	兼7
英語コミュニケーションⅠ	兼7	兼7
英語コミュニケーションⅡ	兼7	兼7
英語リーディングⅡ	兼7	兼7
生涯スポーツ	兼5	兼5
スポーツ実技	兼4	兼4
リフレクションとキャリア	兼1	助教1・兼1
経営学入門	兼1	准教授1
人材マネジメント論	講師1	准教授1
アートプロジェクト論	助教1	講師1
経営組織論	兼1	准教授1
アントレプレナーシップ研究	准教授1	教授2・准教授1
ビジネスプランニング	兼1	教授2・准教授1
地域の歴史と環境	助教1	講師1
ダイバーシティ	助教1	講師1
アカデミックスキル演習	教授1・准教授2・講師3・助教1	教授3・准教授2・講師4・助教1
キャリア基礎ゼミ	教授1・准教授2・講師3・助教1	
キャリアゼミⅠ	教授4・准教授2・講師2・助教4	教授3・准教授3・講師4・助教1
キャリアゼミⅡ	教授4・准教授2・講師2・助教4	教授3・准教授3・講師4・助教1
プロジェクト演習Ⅰ	教授4・准教授2・講師2・助教4	教授3・准教授2・講師4・助教1・兼1
プロジェクト演習Ⅱ	教授4・准教授2・講師2・助教4	教授3・准教授3・講師4・助教1・兼1
つくるラボ演習ⅡA	兼1	講師1
みせるラボ演習Ⅲ（オープンラボ）	助教1	講師1
しらべるラボ演習ⅡB	助教1	講師1
あきなうラボ演習Ⅰ	教授1	准教授1
あきなうラボ演習ⅡA	教授1	教授1・准教授1
あきなうラボ演習ⅡB	兼1	教授1・准教授1
あきなうラボ演習Ⅲ（オープンラボ）	講師1	教授1
ひらめくラボ演習ⅡA	助教1	講師1

(注)・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特」にし、上記記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。  
 ・ 指定規則の改正により、新旧がキリウムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	98 科目	0 科目	129 科目	31 科目 [ ]	98 科目 [ ]	0 科目 [ ]	129 科目 [ ]	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計 (A) ○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム (新カリキュラム) の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム (旧カリキュラム) の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、

学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{129} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 京都市教短期大学 (必要面積5,000㎡)と 共用 京都市教短期大学収容 定員：500名)		
	校舎敷地	㎡	66,575 ㎡	㎡	66,575 ㎡			
	運動場用地	㎡	14,575 ㎡	㎡	14,575 ㎡			
	小 計	㎡	81,150 ㎡	㎡	81,150 ㎡			
	そ の 他	㎡	0 ㎡	㎡	0 ㎡			
	合 計	㎡	81,150 ㎡	㎡	81,150 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 京都市教短期大学 (必 要面積4,400㎡) と共 用			
	12,130 ㎡ ( 12,130 ㎡)	28,558 ㎡ ( 28,558 ㎡)	13,310 ㎡ ( 13,310 ㎡)	53,998 ㎡ ( 53,998 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 京都市教短期大学と共 用 教育充実のための増員 (6)		
	35室	38室	38室	4室 (補助職員 3人5人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員数が変更になっ ているため(6)		
	総合社会学部 実践社会学科			11 12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	総合社会学部	210,000 [26,200] (197,134 [26,006]) 209,788 [25,830] <b>204,253 [25,930]</b>	1,900 [455] (1,888 [450]) 1,877 [446] <b>1,873 [446]</b>	780 [600] (778 [616]) 799 [612] <b>805 [612]</b>	6,100 (5,939) 6,969 <b>7,004</b>	( )	( )	大学全体で共用 学部単位で特定不能な ため、大学全体の数
		計	210,000 [26,200] (197,134 [26,006]) 209,788 [25,830] <b>204,253 [25,930]</b>	1,900 [455] (1,888 [450]) 1,877 [446] <b>1,873 [446]</b>	780 [600] (778 [616]) 799 [612] <b>805 [612]</b>	6,100 (5,939) 6,969 <b>7,004</b>	( )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,836 ㎡		314 席		185,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,080 ㎡		テニスコート		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円 300千円	400千円 300千円	図書購入費	6,200千円	6,200千円 <b>5,600千円</b>	6,200千円 <b>3,750千円</b>
		共 同 研 究 費 等	1,800千円	1,800千円	設備購入費	800千円	800千円	800千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,440千円	1,346千円	1,346千円	1,346千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入等						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		京都文教大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
総合社会学部															
総合社会学科	4	140	3年次 2	564	学士 (総合社会学)	1.30	-		平成25	京都府宇治市横 島町千足80番地	令和6年度から入学定員変更 (200→140)				
実践社会学科	4	60	0	240	学士 (実践社会学)	0.45	-		令和6	同上					
臨床心理学部															
臨床心理学科	4	150	1	602	学士 (臨床心理学)	0.95	-		平成20	同上					
こども教育学部															
こども教育学科	4	90	2	364	学士 (こども教育学)	0.87	-		令和2	同上					
大学全体	4	440	3年次 5	1770	-	-	-	-	-	-					

大学の名称		京都文教短期大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
ライフデザイン総合学科	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	京都府宇治市積島町千足80番地					
ライフデザインコース	2	60	-	120	短大士(家政学)	0.60	-		令和5		令和8年度より学生募集停止				
栄養士コース	2	40	-	80	短大士(家政学)	0.95	-		令和5		令和8年度より学生募集停止				
幼児教育学科	2	150	-	300	短期大士(幼児教育)	0.45	-		昭和41	同上	令和8年度より学生募集停止				
大学全体	2	250	-	400	-	-	-	-	-	-					

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご確認ください。

5 教員組織の状況

<総合社会学部 実践社会学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鶴飼 正樹 (65) <令和6年4月> 文学修士  社会科学論 社会学入門 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ ひらめくラボ演習Ⅰ ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
		小林 康正 (63) <令和6年4月> 社会学修士  生活学 民俗文化論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習Ⅰ しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鶴飼 正樹 (65) <令和6年4月> 文学修士  社会科学論 社会学入門 キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ ひらめくラボ演習Ⅰ ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
		小林 康正 (64) <令和6年4月> 社会学修士  生活学 民俗文化論 キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習Ⅰ しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ) <b>大学入門</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鶴飼 正樹 (66) <令和6年4月> 文学修士  社会科学論 社会学入門 <b>アカデミックスキル演習</b> キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>プロジェクト・オーディション</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ ひらめくラボ演習Ⅰ ひらめくラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
		小林 康正 (65) <令和6年4月> 社会学修士  生活学 民俗文化論 <b>アカデミックスキル演習</b> キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>プロジェクト・オーディション</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習Ⅰ しらべるラボ演習Ⅲ(オープンラボ) <b>大学入門</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	舛井 雄一 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(商学)
		会計論 地域の経済と産業 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ プロジェクトアシスタント (PA)演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ あきなうラボ演習ⅡA
専	教授	森(橘) 正美 (57) ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 修士(地域研究)
		地域入門 地域デザイン概論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト・オーディション プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ
専	准教授	江南 健志 (52) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)、修士(農学)
		地域社会学 社会調査方法論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習ⅡA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	舛井 雄一 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(商学)
		会計論 地域の経済と産業 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ プロジェクトアシスタント (PA)演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ あきなうラボ演習ⅡA <b>あきなうラボ演習Ⅰ</b>
専	教授	森(橘) 正美 (57) ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 修士(地域研究)
		地域入門 地域デザイン概論 キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト・オーディション プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ <b>大学入門</b>
専	准教授	江南 健志 (52) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)、修士(農学)
		地域社会学 社会調査方法論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習ⅡA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	舛井 雄一 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(商学)
		会計論 地域の経済と産業 <b>アントレプレナーシップ研究</b> <b>ビジネスプランニング</b> アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>セルフ・プロデュース</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ プロジェクトアシスタント (PA)演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ <b>あきなうラボ演習Ⅰ(削除)</b> あきなうラボ演習ⅡA <b>あきなうラボ演習ⅡB</b> <b>あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)</b>
専	教授	森(橘) 正美 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 修士(地域研究)
		<b>地域入門(削除)</b> 地域デザイン概論 <b>キャリアゼミⅠ(削除)</b> <b>キャリアゼミⅡ(削除)</b> キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト・オーディション <b>プロジェクト演習Ⅰ(削除)</b> <b>プロジェクト演習Ⅱ(削除)</b> プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ <b>大学入門</b>
専	准教授	江南 健志 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)、修士(農学)
		<b>地域入門</b> 地域社会学 社会調査方法論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>プロジェクト・オーディション</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習ⅡA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒宮 一太 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(人間・環境学)
		アントレプレナーシップ研究 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ 地域インターンシップ事前指導 地域インターンシップ
専	講師	黒川 哲治 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学)
		SDGsと環境 フードシステム アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ つくるラボ演習Ⅰ つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒宮 一太 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(人間・環境学)
		アントレプレナーシップ研究 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ
専	講師	黒川 哲治 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学)
		SDGsと環境 フードシステム キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ つくるラボ演習Ⅰ つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒宮 一太 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(人間・環境学)
		アントレプレナーシップ研究 <b>ビジネスプランニング</b> アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>プロジェクト・オーディション</b> プロジェクト入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ
専	准教授	村山 孝道 (54) ＜令和7年4月＞ 博士(技術・革新的経営)
		経営学入門 経営組織論 人材マネジメント論 アントレプレナーシップ研究 ビジネスプランニング キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ プロジェクト演習Ⅱ あきなうラボ演習Ⅰ あきなうラボ演習ⅡA あきなうラボ演習ⅡB
専	講師	黒川 哲治 (49) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学)
		SDGsと環境 フードシステム <b>アカデミックスキル演習</b> キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ つくるラボ演習Ⅰ <b>つくるラボ演習ⅡA</b> つくるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	多湖雅博 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(経営学)
		経営学入門 人材マネジメント論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ あきなうラボ演習Ⅰ あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
専	助教	許燕華 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		社会調査入門 ダイバーシティ アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習ⅡB
専	助教	谷崎友紀 (34) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		地域の歴史と環境 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ プロジェクトアシスタント(PA)演習Ⅱ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ ひらめくラボ演習ⅡA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	多湖雅博 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(経営学)
		経営学入門 人材マネジメント論 キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ あきなうラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
専	講師	許燕華 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		社会調査入門 ダイバーシティ アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習ⅡB
専	講師	谷崎友紀 (34) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		地域の歴史と環境 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ プロジェクトアシスタント(PA)演習Ⅱ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ ひらめくラボ演習ⅡA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	許燕華 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		社会調査入門 ダイバーシティ アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>セルフ・プロデュース</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ しらべるラボ演習ⅡB
専	講師	谷崎友紀 (35) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		地域の歴史と環境 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ <b>プロジェクト・オーディション</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ プロジェクトアシスタント(PA)演習Ⅱ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ ひらめくラボ演習ⅡA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	谷本 研 (50) ＜令和6年4月＞ 修士(美術)
		アートプロジェクト論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ ラボ入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ みせるラボ演習Ⅰ みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
専	助教	中西 勝彦 (39) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		ともいきとキャリア アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ セルフ・プロデュース プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ つなぐラボ演習Ⅰ つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
兼任	教授	遠藤 央 (66) ＜令和6年4月＞ 博士(社会人類学)
		現代史 家族・ジェンダー論 グローバル化論
兼任	講師	大西 貴之 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	教授	岡本 浄実 (56) ＜令和6年4月＞ 修士(生活福祉学) 修士(健康科学)
		健康科学 スポーツ実技 つくるラボ演習ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	谷本 研 (50) ＜令和6年4月＞ 修士(美術)
		アートプロジェクト論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ ラボ入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ みせるラボ演習Ⅰ みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
専	助教	中西 勝彦 (39) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		ともいきとキャリア <b>大学生生活とキャリア</b> アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ セルフ・プロデュース プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ つなぐラボ演習Ⅰ つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
兼任	教授	遠藤 央 (66) ＜令和6年4月＞ 博士(社会人類学)
		現代史 家族・ジェンダー論 グローバル化論
兼任	教授	岡本 浄実 (56) ＜令和6年4月＞ 修士(生活福祉学) 修士(健康科学)
		健康科学 スポーツ実技 つくるラボ演習ⅡB <b>大学入門</b> <b>生涯スポーツ</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	谷本 研 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(美術)
		アートプロジェクト論 アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ ラボ入門 <b>セルフ・プロデュース</b> プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ みせるラボ演習Ⅰ みせるラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
専	助教	中西 勝彦 (40) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		ともいきとキャリア <b>大学生生活とキャリア</b> <b>リフレクションとキャリア</b> アカデミックスキル演習 キャリア基礎ゼミ キャリアゼミⅠ キャリアゼミⅡ キャリアゼミⅢ キャリアゼミⅣ セルフ・プロデュース プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ ともいきプロジェクト演習Ⅰ ともいきプロジェクト演習Ⅱ つなぐラボ演習Ⅰ つなぐラボ演習Ⅲ(オープンラボ)
兼任	教授	遠藤 央 (67) ＜令和6年4月＞ 博士(社会人類学)
		現代史 家族・ジェンダー論 グローバル化論
兼任	教授	岡本 浄実 (57) ＜令和6年4月＞ 修士(生活福祉学) 修士(健康科学)
		健康科学 スポーツ実技 つくるラボ演習ⅡB <b>大学入門</b> <b>生涯スポーツ</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	香川 克 (57) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		地域入門 地域インターンシップ事前指導 地域インターンシップ
兼担	教授	片山 明久 (65) ＜令和6年4月＞ 博士(政策科学)
		地域インターンシップ事前指導 地域インターンシップ 観光ビジネス論 観光学概論
兼担	教授	川畑 直人 (64) ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		インターンシップ
兼担	教授	中窪 靖 (64) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ 総合英語A 総合英語C 総合英語E
兼担	教授	中嶋 剛 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		日本経済論 経済学概論 あきなうラボ演習ⅡB
兼担	教授	潘 宏立 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		海外インターンシップ事前指導 海外インターンシップ
兼担	教授	平岡 聡 (63) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		大学入門 仏教入門 仏教学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	香川 克 (57) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		地域入門 地域キャリア実習事前指導 地域キャリア実習
兼担	教授	片山 明久 (65) ＜令和6年4月＞ 博士(政策科学)
		地域キャリア実習事前指導 地域キャリア実習 観光ビジネス論 観光学概論 キャリアアップ実習
兼担	教授	中窪 靖 (64) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ 総合英語A 総合英語C 総合英語E
兼担	教授	中嶋 剛 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		日本経済論 経済学概論 あきなうラボ演習ⅡB
兼担	教授	潘 宏立 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		海外キャリア実習事前指導 海外キャリア実習 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ
兼担	教授	平岡 聡 (63) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		仏教入門 仏教学 ともいきとキャリア

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	香川 克 (58) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		地域入門 地域キャリア実習事前指導 地域キャリア実習
兼担	教授	片山 明久 (66) ＜令和6年4月＞ 博士(政策科学)
		地域キャリア実習事前指導 地域キャリア実習 観光ビジネス論 観光学概論 キャリアアップ実習(削除)
兼担	教授	中窪 靖 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ 総合英語A(削除) 総合英語B 総合英語C(削除) 総合英語D 総合英語E(削除)
兼担	教授	中嶋 剛 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		日本経済論 経済学概論 あきなうラボ演習ⅡB
兼担	教授	潘 宏立 (64) ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		海外キャリア実習事前指導 海外キャリア実習 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ
兼担	教授	平岡 聡 (64) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		仏教入門 仏教学 ともいきとキャリア

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	陸 君 (山崎 君子) (66) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		総合英語B 総合英語D
兼任	准教授	浅井 (寺本) 暢子 (48) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		消費行動の心理
兼任	准教授	清水 亜紀子 (44) ＜令和6年9月＞ 博士(教育学)
		地域入門
兼任	准教授	林 雅清 (44) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		大学入門 仏教入門 浄土学 グローバル社会と文化 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 中級中国語
兼任	准教授	吹上 裕樹 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(社会学)
		メディア研究概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	陸 君 (山崎 君子) (66) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語B 総合英語D
兼任	准教授	浅井 (寺本) 暢子 (48) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		消費行動の心理
兼任	准教授	浅田 瞳 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		数理・データサイエンス基礎 数理・データサイエンス演習 社会に活かす統計学
兼任	准教授	塩盛 俊明 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	准教授	清水 亜紀子 (44) ＜令和6年9月＞ 博士(教育学)
		地域入門
兼任	教授	林 雅清 (44) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		大学入門 仏教入門 浄土学 グローバル社会と文化 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 中級中国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	陸 君 (山崎 君子) (67) ＜令和7年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語A 総合英語B(削除) 総合英語D(削除) 総合英語E
兼任	准教授	浅井 (寺本) 暢子 (49) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		消費行動の心理
兼任	准教授	浅田 瞳 (46) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		数理・データサイエンス基礎 数理・データサイエンス演習 社会に活かす統計学
兼任	准教授	倉西 宏 (45) ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		キャリアアップ実習
兼任	准教授	塩盛 俊明 (49) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	教授	林 雅清 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		大学入門 仏教入門 浄土学 グローバル社会と文化 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 中級中国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	安田 ひろみ (65) <令和6年4月> 文学修士
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 中級韓国語
兼任	准教授	山崎(木島) 晶 (47) <令和6年9月> 博士(人間科学)
		メディアリテラシー
兼任	准教授	山本 真一 (49) <令和7年4月> 博士(経済学)
		地域インターンシップ事前指導 地域インターンシップ 公共経済学
兼任	講師	穂原 寿識 (44) <令和7年4月> 博士(経営学)
		マーケティング基礎 マーケティング論
兼任	講師	朝香 知己 (49) <令和6年9月> 博士(神学)
		宗教学
兼任	講師	浅里 京子 (64) <令和6年4月> 短期大学卒
		数理・データサイエンス演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山崎(木島) 晶 (47) <令和6年9月> 博士(人間科学)
		メディアリテラシー メディア研究概論
兼任	准教授	矢野 智子 (58) <令和6年4月> 修士(英語教育学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ
兼任	准教授	山本 真一 (49) <令和7年4月> 博士(経済学)
		地域キャリア実習事前指導 地域キャリア実習 公共経済学
兼任	講師	リビー ローレンス シモン (61) <令和6年4月> 修士(教育学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	朝香 知己 (49) <令和6年9月> 博士(神学)
		宗教学
兼任	講師	浅里 京子 (64) <令和6年4月> 短期大学卒
		数理・データサイエンス基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮崎 悠二 (34) <令和7年4月> 博士(社会学)
		マーケティング基礎
兼任	准教授	山崎(木島) 晶 (48) <令和6年9月> 博士(人間科学)
		メディアリテラシー メディア研究概論
兼任	准教授	山本 真一 (50) <令和7年4月> 博士(経済学)
		地域キャリア実習事前指導 地域キャリア実習 経済学概論 日本経済論 公共経済学
兼任	講師	リビー ローレンス シモン (62) <令和6年4月> 修士(教育学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語C
兼任	講師	朝香 知己 (50) <令和6年9月> 博士(神学)
		宗教学
兼任	講師	浅里 京子 (65) <令和6年4月> 短期大学卒
		数理・データサイエンス基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井口 貢 (68) ＜令和7年4月＞ 経済学修士
		地域開発論
兼任	講師	石田 浩基 (36) ＜令和6年9月＞ 修士(政策学)
		地域入門
兼任	講師	今村 美邦子 (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		芸術論
兼任	講師	枝 富喜夫 (66) ＜令和6年4月＞ 経営学士
		数理・データサイエンス基礎 数理・データサイエンス演習
兼任	講師	岡本 久仁子 (64) ＜令和6年4月＞ 学士(英文学)
		数理・データサイエンス演習
兼任	講師	大柳 淳 (62) ＜令和7年9月＞ 法学士
		ビジネスプランニング 起業論
兼任	講師	川出 健一 (57) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		大学生生活とキャリア リフレクションとキャリア 就職活動とキャリア 職業生活とキャリア

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井口 貢 (68) ＜令和7年4月＞ 経済学修士
		地域開発論
兼任	講師	石田 浩基 (36) ＜令和6年9月＞ 修士(政策学)
		地域入門
兼任	講師	今村 美邦子 (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		芸術論
兼任	講師	枝 富喜夫 (66) ＜令和6年4月＞ 経営学士
		数理・データサイエンス基礎
兼任	講師	岡本 久仁子 (64) ＜令和6年4月＞ 学士(英文学)
		<b>数理・データサイエンス基礎</b>
兼任	講師	大柳 淳 (62) ＜令和7年9月＞ 法学士
		ビジネスプランニング 起業論
兼任	講師	<b>柏原 陽子 (60) ＜令和6年4月＞ 文学修士</b>
		<b>英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ</b>
兼任	講師	<b>金居 修省 (60) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)</b>
		<b>初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ</b>
兼任	講師	川出 健一 (57) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		大学生生活とキャリア リフレクションとキャリア 就職活動とキャリア 職業生活とキャリア

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石田 浩基 (37) ＜令和6年9月＞ 修士(政策学)
		地域入門
兼任	講師	今村 美邦子 (68) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		芸術論
兼任	講師	枝 富喜夫 (67) ＜令和6年4月＞ 経営学士
		数理・データサイエンス基礎
兼任	講師	岡本 久仁子 (65) ＜令和6年4月＞ 学士(英文学)
		<b>数理・データサイエンス基礎</b>
兼任	講師	大柳 淳 (63) ＜令和7年9月＞ 法学士
		<b>ビジネスプランニング(削除)</b> 起業論
兼任	講師	<b>柏原 陽子 (61) ＜令和6年4月＞ 文学修士</b>
		<b>英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ</b>
兼任	講師	<b>金居 修省 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)</b>
		<b>初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ</b>
兼任	講師	川出 健一 (58) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		大学生生活とキャリア <b>リフレクションとキャリア(削除)</b> 就職活動とキャリア 職業生活とキャリア

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河原林 一樹 (63) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		つくるラボ演習ⅡA
兼任	講師	クレオナレス 杉本 七海 (杉本 七海) (29) ＜令和6年4月＞ 修士(健康学)
		生涯スポーツ
兼任	講師	小泉 友則 (36) ＜令和6年9月＞ 博士(学術)、修士(人文学)
		人権論
兼任	講師	高阪 勇毅 (41) ＜令和6年9月＞ 博士(経済学)
		行動経済学
兼任	講師	阪上 めいこ(山本明子) (68) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒
		イベント企画論 みせるラボ演習ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河原林 一樹 (63) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		つくるラボ演習ⅡA
兼任	講師	北尾 浩和 (38) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		生涯スポーツ
兼任	講師	工藤 敦子 (59) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	久米 雅 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(体育科学)
		生涯スポーツ
兼任	講師	クレオナレス 杉本 七海 (杉本 七海) (29) ＜令和6年4月＞ 修士(健康学)
		生涯スポーツ スポーツ実技
兼任	講師	高阪 勇毅 (41) ＜令和6年9月＞ 博士(経済学)
		行動経済学
兼任	講師	阪上 めいこ(山本明子) (68) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒
		イベント企画論 みせるラボ演習ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北尾 浩和 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		生涯スポーツ
兼任	講師	工藤 敦子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	クレオナレス 杉本 七海 (杉本 七海) (30) ＜令和6年4月＞ 修士(健康学)
		生涯スポーツ スポーツ実技
兼任	講師	高阪 勇毅 (42) ＜令和6年9月＞ 博士(経済学)
		行動経済学
兼任	講師	香月 悠希 (33) ＜令和7年4月＞ 修士(人間・環境学)
		政策過程論
兼任	講師	阪上 めいこ(山本明子) (70) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒
		イベント企画論 みせるラボ演習ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阪元 勇輝 (64) ＜令和6年9月＞ 博士(工学)
		環境論
兼任	講師	笹岡 健太 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(地球環境学)
		哲学 倫理学
兼任	講師	澤田 裕子 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(人間・環境学)
		京都の文化と歴史
兼任	講師	島田 善道 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(経営学)
		経営組織論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阪元 勇輝 (64) ＜令和6年9月＞ 博士(工学)
		環境論
兼任	講師	笹岡 健太 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(地球環境学)
		哲学 倫理学
兼任	講師	澤田 裕子 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(人間・環境学)
		京都の文化と歴史
兼任	講師	ジェイムズ ホーヴィー (60) ＜令和6年4月＞ ウィスコンシン大学卒業(米国)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	島田 善道 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(経営学)
		経営組織論
兼任	講師	ジャコバ アカザワ (69) ＜令和6年4月＞ M. Ed. (豪州)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	シーラ キャンベル (67) ＜令和6年4月＞ B. S in Business Studies(U. K.)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	杉原 由里子 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(文化学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阪元 勇輝 (65) ＜令和6年9月＞ 博士(工学)
		環境論
兼任	講師	笹岡 健太 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(地球環境学)
		哲学 倫理学
兼任	講師	佐原 太一郎 (46) ＜令和7年4月＞ Master of Arts(Management)
		マーケティング論
兼任	講師	澤田 裕子 (46) ＜令和6年4月＞ 博士(人間・環境学)
		京都の文化と歴史
兼任	講師	ジェイムズ ホーヴィー (61) ＜令和6年4月＞ ウィスコンシン大学卒業(米国)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	ジャコバ アカザワ (70) ＜令和6年4月＞ M. Ed. (豪州)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	シーラ キャンベル (68) ＜令和6年4月＞ B. S in Business Studies(U. K.)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	杉原 由里子 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(文化学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西岡 暁廣 (37) ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		社会に活かす統計学
兼任	講師	林 幸治郎 (67) ＜令和7年4月＞ 経営学士
		ひらめくラボ演習ⅡB
兼任	講師	伏見 康子 (47) ＜令和7年4月＞ 博士(経営学)
		簿記論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飛田 義和 (67) ＜令和6年4月＞ 修士(初等教育学)
		スポーツ実技
兼任	講師	中川 理季 (39) ＜令和6年9月＞ 博士(社会学)
		人権論
兼任	講師	花野 宏美 (25) ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ健康科学)
		生涯スポーツ スポーツ実技
兼任	講師	林 幸治郎 (67) ＜令和7年4月＞ 経営学士
		ひらめくラボ演習ⅡB
兼任	講師	林 峰子 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ
兼任	講師	平井 清美 (64) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 中級韓国語
兼任	講師	原田 靖也 (49) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ
兼任	講師	伏見 康子 (47) ＜令和7年4月＞ 博士(経営学)
		簿記論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中川 理季 (40) ＜令和6年9月＞ 博士(社会学)
		人権論
兼任	講師	花野 宏美 (26) ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ健康科学)
		生涯スポーツ スポーツ実技
兼任	講師	林 幸治郎 (68) ＜令和7年4月＞ 経営学士
		ひらめくラボ演習ⅡB
兼任	講師	林 峰子 (59) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ
兼任	講師	平井 清美 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 中級韓国語
兼任	講師	原田 靖也 (50) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松岡(谷山) 奈緒美 (47) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		みせるラボ演習ⅡA
兼任	講師	森合 真一 (60) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		社会福祉
兼任	講師	屋葺(竹崎) 素子 (47) ＜令和7年4月＞ 修士(人間科学)
		ネットワーク論
兼任	講師	山谷 清志 (69) ＜令和7年4月＞ 博士(政治学)
		政策過程論 行政学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤原 和彦 (56) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ
兼任	講師	松岡(谷山) 奈緒美 (47) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		みせるラボ演習ⅡA
兼任	講師	森合 真一 (60) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		社会福祉
兼任	講師	屋葺(竹崎) 素子 (47) ＜令和7年4月＞ 修士(人間科学)
		ネットワーク論
兼任	講師	山谷 清志 (69) ＜令和7年4月＞ 博士(政治学)
		政策過程論 行政学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤原 和彦 (57) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ
兼任	講師	松岡(谷山) 奈緒美 (48) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		みせるラボ演習ⅡA
兼任	講師	松尾 智晶 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(政策・メディア)
		リフレクションとキャリア
兼任	講師	森合 真一 (61) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		社会福祉
兼任	講師	山崎 樹一郎 (46) ＜令和7年4月＞ 学士(文化人類学)
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ
兼任	講師	屋葺(竹崎) 素子 (48) ＜令和7年4月＞ 修士(人間科学)
		ネットワーク論
兼任	講師	山谷 清秀 (35) ＜令和7年4月＞ 博士(政策科学)
		行政学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 恵果 (44) <令和7年4月> 修士(政策学)
		つなぐラボ演習ⅡA つなぐラボ演習ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 恵果 (44) <令和7年4月> 修士(政策学)
		つなぐラボ演習ⅡA つなぐラボ演習ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 恵果 (45) <令和7年4月> 修士(政策学)
		つなぐラボ演習ⅡA つなぐラボ演習ⅡB

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

(1) 担当科目の追加			
教員名	専任・兼任・兼任	科目名	理由
小林 康正	専任・教授	大学入門	教育充実のため
森 正美	専任・教授	大学入門	教育充実のため
舩井 雄一	専任・教授	あきなうラボ演習Ⅰ	前任者未就任のため
中西 勝彦	専任・助教	大学生生活とキャリア	教育充実のため
平岡 聡	兼任・教授	ともいきとキャリア	教育充実のため
片山 明久	兼任・教授	キャリアアップ実習	教育充実のため
山崎 晶	兼任・准教授	メディア研究概論	前任者退職のため
岡本 浄実	兼任・教授	大学入門	教育充実のため
		生涯スポーツ	教育充実のため
潘 宏立	兼任・教授	初級中国語Ⅰ	教育充実のため
		初級中国語Ⅱ	教育充実のため
浅里 京子	兼任・講師	数理・データサイエンス基礎	教育充実のため
岡本 久仁子	兼任・講師	数理・データサイエンス基礎	教育充実のため
クレオナレス杉本七海	兼任・講師	スポーツ実技	教育充実のため

  

(2) 担当科目の削除			
教員名	専任・兼任・兼任	科目名	理由
鶴岡 正樹	専任・教授	アカデミックスキル演習	履修者数に応じた担当者数調整のため
		キャリア基礎ゼミ	履修者数に応じた担当者数調整のため
小林 康正	専任・教授	アカデミックスキル演習	履修者数に応じた担当者数調整のため
		キャリア基礎ゼミ	履修者数に応じた担当者数調整のため
森 正美	専任・教授	アカデミックスキル演習	履修者数に応じた担当者数調整のため
		キャリア基礎ゼミ	履修者数に応じた担当者数調整のため
黒宮 一太	専任・准教授	地域キャリア実習事前指導	履修者数に応じた担当者数調整のため
		地域キャリア実習	履修者数に応じた担当者数調整のため
黒川 哲治	専任・講師	アカデミックスキル演習	履修者数に応じた担当者数調整のため
		キャリア基礎ゼミ	履修者数に応じた担当者数調整のため
多湖 雅博	兼任・講師	アカデミックスキル演習	
		キャリア基礎ゼミ	専任教員未就任のため
		あきなうラボ演習Ⅰ	
平岡 聡	兼任・教授	大学入門	履修者数に応じた担当者数調整のため
川畑 直人	兼任・教授	キャリアアップ実習	科目担当者の適合性を高めるため
浅里 京子	兼任・講師	数理・データサイエンス演習	科目担当者の適合性を高めるため
岡本 久仁子	兼任・講師	数理・データサイエンス演習	科目担当者の適合性を高めるため
枝 富喜夫	兼任・講師	数理・データサイエンス演習	科目担当者の適合性を高めるため

  

(3) 新規担当者の追加			
教員名	専任・兼任・兼任	科目名	理由
浅田 睦	兼任・准教授	数理・データサイエンス基礎	教育充実のため
		数理・データサイエンス演習	教育充実のため
		社会に活かす統計学	前任者辞退のため
塩盛 俊明	兼任・准教授	日本国憲法	前任者辞退のため
矢野 智子	兼任・准教授	英語リーディングⅠ	教育充実のため
		英語リーディングⅡ	教育充実のため
R.R. シモン	兼任・講師	英語コミュニケーションⅠ	教育充実のため
		英語コミュニケーションⅡ	教育充実のため
工藤 敦子	兼任・講師	英語コミュニケーションⅠ	教育充実のため
		英語コミュニケーションⅡ	教育充実のため
J. アカザワ	兼任・講師	英語コミュニケーションⅠ	教育充実のため
		英語コミュニケーションⅡ	教育充実のため
S. キャンベル	兼任・講師	英語コミュニケーションⅠ	教育充実のため
		英語コミュニケーションⅡ	教育充実のため
J. ホーヴィー	兼任・講師	英語コミュニケーションⅠ	教育充実のため
		英語コミュニケーションⅡ	教育充実のため
柏原 陽子	兼任・講師	英語リーディングⅠ	教育充実のため
		英語リーディングⅡ	教育充実のため
杉原 由里子	兼任・講師	英語リーディングⅠ	教育充実のため
		英語リーディングⅡ	教育充実のため
林 峰子	兼任・講師	英語リーディングⅠ	教育充実のため
		英語リーディングⅡ	教育充実のため
原田 靖也	兼任・講師	英語リーディングⅠ	教育充実のため
		英語リーディングⅡ	教育充実のため
藤原 和彦	兼任・講師	英語リーディングⅠ	教育充実のため
		英語リーディングⅡ	教育充実のため
北尾 浩和	兼任・講師	生涯スポーツ	教育充実のため
久米 雅	兼任・講師	生涯スポーツ	教育充実のため
花野 宏美	兼任・講師	生涯スポーツ	教育充実のため
飛田 義和	兼任・講師	スポーツ実技	教育充実のため
金居 修省	兼任・講師	スポーツ実技	教育充実のため
平井 清美	兼任・講師	初級韓国語Ⅰ	前任者退職のため
		初級韓国語Ⅱ	前任者退職のため
		初級韓国語Ⅰ	前任者退職のため
		初級韓国語Ⅱ	前任者退職のため
中川 理季	兼任・講師	中級韓国語	前任者退職のため
		人権論	前任者辞退のため

  

(4) 担当者の削除			
教員名	専任・兼任・兼任	科目名	理由
安田 ひろみ	兼任・准教授	初級韓国語Ⅰ	退職のため
		初級韓国語Ⅱ	
		中級韓国語	
大西 貴之	兼任・講師	日本国憲法	退職のため
吹上 裕樹	兼任・講師	メディア研究概論	退職のため
西岡 暁廣	兼任・講師	社会に活かす統計学	就任辞退のため
小泉 友則	兼任・講師	人権論	就任辞退のため

  

(5) 専・兼任・兼任の別、職位の変更			
教員名	変更前	変更後	理由
多湖 雅博	専任・講師	兼任・講師	併設する総合社会学部総合社会学科の教育充実のため急遽異動となったため
許 燕華	専任・助教	専任・助教	昇任のため
谷本 研	専任・助教	専任・講師	昇任のため
谷崎 友紀	専任・助教	専任・講師	昇任のため
林 雅清	兼任・准教授	兼任・教授	昇任のため

  

(6) 科目名称の変更	
変更前	変更後
地域インターンシップ事前指導	地域キャリア実習事前指導
地域インターンシップ	地域キャリア実習
海外インターンシップ事前指導	海外キャリア実習事前指導
海外インターンシップ	海外キャリア実習
インターンシップ	キャリアアップ実習

  

(7) 誤記による年齢の変更			
教員名	変更前	変更後	変更後
小林 康正	専任・教授	63	64

【令和7年度】

(1) 教育の充実のための担当科目の追加

教員名	専任・兼任・兼任	職位	科目名
鶴岡 正樹	専任	教授	アカデミックスキル演習
鶴岡 正樹	専任	教授	プロジェクト・オーディション
小林 康正	専任	教授	アカデミックスキル演習
小林 康正	専任	教授	プロジェクト・オーディション
舩井 雄一	専任	教授	アントレプレナーシップ研究
舩井 雄一	専任	教授	ビジネスプランニング
舩井 雄一	専任	教授	セルフ・プロデュース
舩井 雄一	専任	教授	あきなうラボ演習ⅡB
舩井 雄一	専任	教授	あきなうラボ演習Ⅲ（オープンラボ）
黒宮 一太	専任	准教授	ビジネスプランニング
黒宮 一太	専任	准教授	プロジェクト・オーディション
村山 孝道	専任	准教授	アントレプレナーシップ研究
村山 孝道	専任	准教授	あきなうラボ演習ⅡA
黒川 哲治	専任	講師	アカデミックスキル演習
黒川 哲治	専任	講師	つくるラボ演習ⅡA
許 燕華	専任	講師	セルフ・プロデュース
谷崎 友紀	専任	講師	プロジェクト・オーディション
谷本 研	専任	講師	セルフ・プロデュース
中西 勝彦	専任	准教授	リフレクションとキャリア
熊本 実起	兼任	講師	英語コミュニケーションⅠ
熊本 実起	兼任	講師	英語コミュニケーションⅡ
山崎 樹一郎	兼任	講師	プロジェクト演習Ⅰ
山崎 樹一郎	兼任	講師	プロジェクト演習Ⅱ

(2) 履修者数に応じたクラス数の削除

教員名	専任・兼任・兼任	職位	科目名
矢野 智子	兼任	准教授	英語リーディングⅠ
矢野 智子	兼任	准教授	英語リーディングⅡ
久米 雅	兼任	講師	生涯スポーツ
飛田 義和	兼任	講師	スポーツ実技

(3) 教育的配慮に伴う科目担当の変更

教員名 (変更前担当者)	専任・兼任・兼任 (変更前担当者)	職位 (変更前担当者)	科目名	教員名 (変更後担当者)	専任・兼任・兼任 (変更後担当者)	職位 (変更後担当者)
多湖 雅博	兼任	講師	あきなうラボ演習Ⅲ（オープンラボ）	舩井 雄一	専任	教授
多湖 雅博	兼任	講師	経営学入門	村山 孝道	専任	准教授
島田 善道	兼任	講師	経営組織論	村山 孝道	専任	准教授
多湖 雅博	兼任	講師	人材マネジメント論	村山 孝道	専任	准教授
大柳 淳	兼任	講師	ビジネスプランニング	村山 孝道	専任	准教授
多湖 雅博	兼任	講師	キャリアゼミⅠ	村山 孝道	専任	准教授
多湖 雅博	兼任	講師	キャリアゼミⅡ	村山 孝道	専任	准教授
多湖 雅博	兼任	講師	プロジェクト演習Ⅱ	村山 孝道	専任	准教授
舩井 雄一	専任	教授	あきなうラボ演習Ⅰ	村山 孝道	専任	准教授
中島 剛	兼任	教授	あきなうラボ演習ⅡB	村山 孝道	専任	准教授
河原林 一樹	兼任	講師	つくるラボ演習ⅡA	黒川 哲治	専任	講師
片山 明久	兼任	教授	キャリアアップ実習	倉西 宏	兼任	准教授
中窪 靖	兼任	教授	総合英語A	陸 君	兼任	教授
陸 君	兼任	教授	総合英語B	中窪 靖	兼任	教授
陸 君	兼任	教授	総合英語C	リビー ローレンス シモン	兼任	講師
陸 君	兼任	教授	総合英語D	中窪 靖	兼任	教授
中窪 靖	兼任	教授	総合英語E	陸 君	兼任	教授
川出 健一	兼任	講師	リフレクションとキャリア	松尾 智晶	兼任	講師
山谷 清志	兼任	講師	政策過程論	香月 悠希	兼任	講師
山谷 清志	兼任	講師	行政学	山谷 清秀	兼任	講師

(4) 前任者退職・発任に伴う担当の変更

教員名 (変更前担当者)	専任・兼任・兼任 (変更前担当者)	職位 (変更前担当者)	科目名	教員名 (変更後担当者)	専任・兼任・兼任 (変更後担当者)	職位 (変更後担当者)
中島 剛	兼任	教授	日本経済論	山本 真一	兼任	准教授
中島 剛	兼任	教授	経済学概論	山本 真一	兼任	准教授
中島 剛	兼任	教授	あきなうラボ演習ⅡB	村山 孝道	専任	准教授

(5) 科目名称・開講期の変更

変更前		変更後		理由
科目名称	開講期	科目名称	開講期	
簿記論	2前	会計データリテラシー	2秋	2025年度入学生カリキュラムより、総合社会学部全体で簿記・会計学系科目のカリキュラムデザインを改訂することとなったため
日本経済論	2前	日本経済論	2秋	2025年度入学生カリキュラムより、総合社会学部全体で経済学系科目のカリキュラムデザインを改訂することとなったため

(注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	講師	多湖 雅博	R6.4	選択 必修	経営学入門	② ①	併設する総合社会学部総合社会学科の教育充実のため急遽異動となり、実践社会学科には兼担として就任することとなった。令和7年度に専任として着任予定である。(6)  令和7年度に専任として着任予定であったが、本人から一身上の都合により令和7年3月をもって退職の申し出があり、これを承認した。(令和7年度)		
				選択	人材マネジメント論	①			
				必修	アカデミックスキル演習	①			
				必修	キャリア基礎ゼミ	①			
				必修	キャリアゼミⅠ	①			
				必修	キャリアゼミⅡ	①			
				必修	キャリアゼミⅢ	①			
				必修	キャリアゼミⅣ	①			
				必修	プロジェクト演習Ⅰ	①			
				必修	プロジェクト演習Ⅱ	①			
				必修	プロジェクト演習Ⅲ	①			
				必修	プロジェクト演習Ⅳ	①			
				必修	ともいきプロジェクト演習Ⅰ	①			
				必修	ともいきプロジェクト演習Ⅱ	①			
選択	あきなうラボ演習Ⅰ	①							
選択	あきなうラボ演習Ⅲ	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	13	科目	必修	13	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{12} = 8.33 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
--

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>(令和6年度) 多湖雅博(未就任) 現在、実践社会学科には兼担として就任(令和7年度からは専任に就任予定)しており、担当科目は計画通り開講できる予定である。学生に対しては年度初めのオリエンテーションで兼任教員として紹介、周知しており、当初予定していた学生指導体制を可能な限り担保している。</p> <p>(令和7年度) 多湖雅博(退職) 令和6年5月に多湖氏から令和6年度限りでの退職の申し出があった。これを受けて、令和6年7月に後任人事の採用に向けて発議を起し、教授会の議を経て、承認した。</p> <p>村山孝道(就任) 令和7年度から就任予定だった多湖氏の退職を受けて、その後任として本学規程に則り採用人事審査をおこない、採用に至った。専門分野、担当予定科目等については多湖氏と親和性が高く、多湖氏が担当予定であったすべての科目を村山氏が引き継ぎ、担当する。そのため、実践社会学科の当初計画にあった教育研究活動に支障はない。</p>
--

(注)・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
届 出 時 (令和6年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】改善意見 令和6年度は、正課・課外を問わず、教員が主体となって学内や地域での実践的な教育に取り組んだ。また「多様な入学生をしっかりと育てる初年次教育の基盤づくり」を掲げ、チームティーチングによって学生を教育する手法を積極的に取り入れ、学力や成績指導だけではなく、学生生活全体の情報共有、状況把握に努めている。 また、本学の地域連携・高大接続担当部署と連携して、大学近隣や滋賀県の高校と協働で「探究」・「体験型授業」を通じた高校の授業への参画を積極的に行ってきた。 その他、実践社会学科のブランディングを高める活動として、オープンキャンパスにおいて、学科の学びを体験する「模擬授業」や、展示物（ポスター）の創意工夫、上記活動の動画や記事をSNSを通じて積極的に発信するなどした。 学科を紹介する活動として、教職員協働で高校訪問も積極的に行った。本学からの通学圏である京都、滋賀といった近隣だけではなく、福井、富山、鳥取、島根、山口、広島、愛媛、栃木、群馬など、他地域での広報活動にも積極的に取り組んだ。（7）	履行中	「探究的な学びといえば実践社会学科」というブランディングを浸透させ、少しずつであるが増加している入学者数を軌道に乗せ、その多様な入学生を卒業できる学力・態度を身につけさせる。また、1期生の就職に向けてはオファー型就職の活用による新たな就活のモデルづくりを進める。さらに、実践社会学科の学びの中核となるプロジェクト演習が始まることもあり、学科の教育の仕組みの確立と発信を目指す。 1. オープンキャンパス接触者の出願率向上に向けた取り組み 2. 「探究」を用いたブランディングと「高大連携」の強化 3. 多様な入学生をしっかりと育てる初年次教育の基盤づくり 4. 学科の特色となるプロジェクト演習の基盤構築 5. 「実は就職しない」へ向けたオファー型就職活動への取り組み（7）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<総合社会学部 実践社会学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）  
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

・2024年度まで

平成17年4月1日よりFD委員会を設置（根拠規程：京都文教大学FD委員会規程）

京都文教大学学則第3条第2項に基づき、授業内容及び方法と教育環境の改善を図るために、FD（Faculty Development）委員会（以下「委員会」という。）を置く（令和6年4月1日～）

FD委員の構成員

教務部長を委員長とし、各学部から選出された者2名、その他必要に応じて学長が委嘱する者（令和6年4月1日～）

・2025年度以降

2024年度限りでFD委員会規程が廃止され、以降教育開発推進センターが開催する教育開発推進会議において、教員の資質の維持向上の方策に関しても取り扱う

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

授業実施期間に毎月1回定例で開催している。

【令和7年度（2025年度）の開催状況】（委員数10名 定足数6名） ※令和7年5月1日現在

第1回：2025年4月10日 8名出席 内6名教員出席

第2回：2025年5月1日 9名出席 内6名教員出席

【令和6年度（2024年度）の開催状況】（委員数8名 定足数6名）

第1回：2024年5月9日 11名出席 内8名教員出席

第2回：2024年12月5日 10名出席 内7名教員出席（委任1名）

【令和5年度（2023年度）の開催状況】（委員数10名 定足数7名）

第1回：2023年 4月12日 9名出席 内7名教員出席

第2回：2023年 5月17日 10名出席 内8名教員出席

第3回：2023年 6月14日 9名出席 内7名教員出席

第4回：2023年 7月12日 8名出席 内6名教員出席（委任2名）

第5回：2023年 9月13日 8名出席 内6名教員出席（委任2名）

第6回：2023年10月11日 9名出席 内8名教員出席（委任1名）

第7回：2023年11月 8日 8名出席 内6名教員出席（委任2名）

第8回：2023年12月13日 10名出席 内8名教員出席

第9回：2024年 1月17日 9名出席 内7名教員出席（委任1名）

第10回：2024年 2月14日 8名出席 内6名教員出席（委任1名）

第11回：2024年 3月13日 10名出席 内8名教員出席

○ 委員会の審議事項等

○京都文教大学教育開発推進センター規程第3条に以下を定めている。

第3条 教育開発推進センターは、前条の任務を達成するため以下の業務を行う。

- (1) 本学において先取的に取り組むことが期待される教育の企画・開発及び実施
- (2) 基盤教育の開発、運営、並びに学部教育との連携
- (3) 入学前教育並びに接続教育に関すること
- (4) 京都文教大学学則第3条第5項による授業内容及び方法の改善(Faculty Development)に関すること
- (5) 京都文教大学学則第3条第3項による研修に関すること
- (6) ICTを活用した教育施策の改善及び推進の支援に関すること
- (7) 学修支援施策の推進及び学生の自律的な学びの支援に関すること
- (8) その他本学における教育開発推進に関すること
- (9) 前号までの事項に関する調査・研究並びに点検・評価に関すること

② 実施状況（2024年度まで）

a 実施内容

i 授業アンケートの実施

ii FD研修会の開催

iii 授業・教授方法改善

iv 大学コンソーシアム京都への協力

v FD関連学外研修への参加促進

vi 学生参画によるFD活動の実施

b 実施方法

i 授業アンケートはWEBで実施している。

ii FD研修会についてはFD委員会が企画立案の中心となり、全教員に対して実施している。

iii FD委員会内に授業・教授法改善のワーキンググループ（授業アンケート等の検討・実施、シラバス、教授法開発、FD研修会等）を設置している。

iv 大学コンソーシアム京都のFDフォーラム委員へ本学教員を派遣している。

v FD関連学外研修会情報について、FD委員会の事務所管である教務課がFD関連の研修会やフォーラム・ワークショップ等の情報を収集し、教職員に周知している。

vi 学生参画によるFD活動について、学生参画カリキュラムアセスメントを行っている。また、UNGL（西日本学生リーダーズ・スクール）や学生FDサミットに教職員・学生を派遣している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

i 授業アンケート実施について、各学期の期末に年2回実施している。

ii FD研修の実施状況

【令和6年度（2024年度）】（参加者数はFD委員会が主催のもののみ掲載）

2024年6月20日 京都文教大学にプレゼントするFDチップス 参加：26名（大学教員：23名 職員：3名）

2024年7月18日 京都文教大学のUDLに向けた授業について考える ～AL要素を含む講義系科目のメディア授業化の可能性～ 参加：68名（大学教員：57名 職員：11名）

2024年9月17日 合理的配慮をあらためて理解する。 参加：51名（大学教員：34名 職員：17名）

2024年9月26日 こども教育学科 学生参画カリキュラム・アセスメントから、カリキュラムの設計・評価検証・改善を考える

2024年10月31日 UDL を視点とした授業の改善

2024年11月21日 京都文教大学にプレゼントするFDチップス集 Vol. 2 参加：26名（大学教員：23名 職員：3名）

2024年12月24日 UDL、どうする？どうなる？～次年度UDLに向けて授業の録画配信の方法と実際の運用について考える～

Vol. 2 参加：74名（大学教員：45名 職員：16名）

- 2025年2月6日 学生相談室 学部懇談会
- 2025年2月20日 ハラスメントにならない学生対応～教職員の困りごと解消に向けて～
- 2025年2月27日 多様な学生の多様なニーズに対応する授業とは—合理的配慮、UDLをどう考えるか—
- 2025年3月4日 窓口対応研修会
- 2025年3月10日 中退予防対策に関するSD研修会
- 2025年3月12日 視覚障がいのある学生への支援の実施について

#### 【令和5年度（2023年度）】の実施状況

9回のFD研修会（主催・共催）を実施した。詳細は以下のとおりである。

- 2023年 6月19日 障がい学生支援にかかる研修会「そもそも合理的配慮とは・社会的障壁とは？」（教員17名参加）
- 2023年 7月10日 FD研修会「教育における生成系AIの活用と注意」（教員56名参加）
- 2023年 7月19日 FD研修会「デジタル教科書の活用事例」（教員30名参加）
- 2023年 8月 7日 FD研修会「北陸大学データサイエンス・AI教育プログラム」（教員32名参加）
- 2023年12月11日 FD研修会「アカデミック・アドバイジングとは」（教員55名参加）
- 2024年 2月20日 FD研修会「BYODを踏まえた教育のICT活用について」（教員42名参加）
- 2024年 2月28日 学生相談室研修会「コロナ後の学生理解とコミュニケーション」（教員24名参加）
- 2024年 3月 4日 FD研修会「高校現場の教育、探究活動、学園連携の現状」（教員17名参加）
- 2024年 3月 5日 学生相談室研修会「学生支援の理想と現実について考えよう version2」（教員7名参加）

iii FD委員会内の授業・教授法ワーキンググループについて、年間計画・重点施策の達成に向けて会議、作業を進めている。令和5年度（2023年度）は、オンデマンドでの授業参観・UDL推進のためのオンライン授業の積極的導入に関する検討を行った他、教員の教育力の向上とアセスメント方法の構築に向けた施策として、授業アンケート結果を受けた振り返り制度「授業アンケート結果を受けた教員振り返り」の運用を開始した。

2024年度は重点施策として「学部FDの推進」を掲げ、学部運営会議を軸に学部として課題、強化すべき案件についてのFDを推進した。また、学部が実施する研修等については全学（短期大学を含む）に向けて開き、FDとして共有した。

iv 大学コンソーシアム京都主催FDフォーラムの企画検討委員にFD委員会より本学教員を選出している。

v 委員会事務所管の教務課が、FD研修会や高等教育系協会のシンポジウムなどの情報を全教職員に提供し、参加を促している。令和5年度（2023年度）については約150件の案内を行った。令和6年度（2024年度）についても順次案内、参加促進を行っている。

vi 学生参画カリキュラムアセスメント報告会を2023年9月20日に開催した。また、UNGL（西日本学生リーダーズ・スクール）等に教職員・学生を派遣している。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善等への取組状況

i 授業アンケートについて、Web上で実施し、結果については教員が確認している。また、授業アンケートに関するワーキンググループ等で項目、実施時期、実施内容などの検討を行っている。

ii FD研修について、研修会終了後にアンケートを実施し、教員の満足度等の確認を行い、今後の研修内容検討につなげている。また、アンケート結果についてはFD委員を通じて学科で共有を行っている。

iii ワーキンググループの活動、課題の進捗状況について、適宜FD委員会で報告等を求めている。ワーキンググループの活動・実績をFD活動の年間報告への記載を求めている。

iv 大学コンソーシアム京都のFDフォーラムに本学教員を派遣し、企画運営を行って社会貢献をするとともに、その情報や成果を本学に還元している。

v 外部FD研修会に参加した者は、FD委員会内で報告を行うことになっており、FD委員会内で共有している。また、外部研修会参加のための予算を計上し、参加促進を行っている。

vi 学生参画カリキュラムアセスメントの報告を受けて、各学位プログラムのカリキュラム機能度やアセスメント活動に漏れはないかなどを、学長が直接、学生の報告及び質疑を通して学生の声を聞く場が設けられた。参加学生選出に当たっては、学生組織の代表に加え、成績優秀者、奨学金受給者や公募参加希望者など、多角的な学生の声を聞くことを重点に置いた。学生から提示された意見について検討を進めている。また、2023年度に引き続き、2024年度も教職員、学生が自由に意見交換を行う「教・職・学しゃべり場」として「授業や学びに関すること」「学習環境に関すること」など多様な観点から話し合ってもらい、カリキュラム・ICTツール・授業評価・UDL等の課題点・改善点が明らかにされた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期期末に年2回の実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果について、アンケート回答システムより教員にフィードバックをおこなっている。また全体集計についてはHPに公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的通りに履行すべく学科を運営し、順調にその取り組みを行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和7年9月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和7年9月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和元(2019)年に評価機関(大学基準協会)の第Ⅲ期大学評価を受審した。

次回第Ⅳ期の評価は、令和8(2026)年に同評価機関で受審する予定である。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。